



Title	北海道大学結核研究所集談会記録
Description	
Citation	結核の研究, 29, 45-45
Issue Date	1969
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26797
Type	departmental bulletin paper
File Information	29_P45.pdf



北海道大学結核研究集談会記録

第 149 回

山本健一：免疫学的無反応性について

文献：Leskowitz, S. : *Ann. Rev. Microbiology* **21**, 157. 1967.

Weigle, W. O. : *Natural and Acquired Immunologic Unresponsiveness* 1967.

Turk, J. L. : *Delayed Hypersensitivity* 1967.

外岡秀一：NMR 質量分析によるペプチドのアミノ酸配列決定

文献：Sheinblatt, M. : *J. Am. Chem. Soc.* **88**, 2845, 1966.

Biemann, K. : *ibid* **88**, 5598, 1966.

Senn, M. et al : *ibid* **89**, 5550, 1967.

第 150 回

有馬 純：クリオシュタットによる結核菌培養法とその臨床的応用

文献：Steer, A. et al : *Am. Rev. Resp. Dis.* **96**, 758. 1967.

三浦和子：抗原としての核酸

文献：Otto, J. P. & Werner, B. : *Advances in Immunology*. **6**, 231, 1967.

第 151 回

木村卓郎：Immunoglobulins.

文献：Lenox, S. & Cohn, M. : *Ann. Rev. Biochem.* **36**, 365, 1967.

第 152 回

久世彰彦：サルコイドーシスの免疫学

文献：Scadding, J. G. : *Sarcoidosis*. 1967.

浜田栄司：A型連鎖球菌と哺乳動物組織との（抗原性の）類似性について

文献：Zabriskie, J. B. : *Advances in Immunology*. **6**, 147, 1968.

第 153 回

柿本七郎：Chemische Aspekte der Penicillin-Allergie.

文献：Schneider, C. H. & Weck, A. L. : 1) *Helo. Chem. Acta.* **49**, 1695, 1966. 2) *ibid* **49**, 1707, 1966.

佐々木昭雄：細菌のリン脂質について

文献：Ikawa, M. : *Bact. Rev.* **31**, 54, 1967.

第 154 回

結核研究所研究発表会

山本健一：細胞移入によるツ・アレルギーの研究

—細胞 recipient における免疫抑制剤のツ・アレルギー

—発現および卵白アルブミン感作への影響—

山本健一, 関川勲：プロピレン・オキシド致死結核死菌免疫の研究

五十嵐仁, 有馬純：二次剤耐性菌の population の検討

樽松三郎, 山本健一, 有馬純：微量排菌株を中心とする結核菌毒力の研究

中本節朗： α -サイクロフォスファミドの実験結核症への影響

—特に抗結核剤との併用効果—

丸谷竜司, 山本健一, 奥山春枝, 有馬純：6MP のマウス結核感染および免疫におよぼす影響

佐々木昭雄：結核菌リン脂質の免疫生化学的研究

三浦和子, 高橋義夫：酵素抽出による菌体成分の研究

高橋義夫：予防部門研究の概括と展望

木村卓郎： α M 抗体の抗原結合能について

工藤英夫：原田氏病および Behcet 氏病の血清学的研究 —自己免疫病の可能性について—

大原達：細菌部門研究の概括と展望

奥山春枝：遅延型反応の発現機構に関する研究

—腹腔細胞に対する「ツ」蛋白の作用—

浜田栄司：胸腺摘出家兎の免疫学的反応態度について

高橋明男：1) ニワトリの免疫発生機構について 2)

PVP 注射家兎の免疫能の影響について

森川和雄：病理部門研究の概括と展望

関川 勲：抗結核剤の研究(I)

西江 純：抗結核剤の研究(II)

外岡秀一：抗結核剤の研究(III)

柿本七郎：化学部門研究の概括と展望

久世彰彦：Clubbed finger の研究統報

第 155 回

高橋義夫：結核免疫と遅延型アレルギーの相互関係に関する最近の動向

森川和雄：私の見たアメリカの研究生活および Case Western Reserve 大学の医学教育

第 156 回

大原 達：補体結合反応における γ M 抗体の態度

文献：Cunniff, R. V. et al : *J. Immunol.* **100**, 7, 1968. Plotz, P. H. et al : *J. Immunol.* **100**, 752, 1968.

西江 純：The Structure of Telomycin.

文献：Sheehan, J. C., et al : *J. A. C. S.* **90**, 462, 1968.